

年末年始 人気の旅行先

国内は沖縄、海外は台湾

JATA発表

日本旅行業協会(JATA)は12月21日、会員旅行会社を対象に実施した調査をもとに、年末年始の旅行先を公表した。旅行先は国内が沖縄、海外が台湾となっている。

温暖な沖縄は、石垣島、宮古島などの離島を含めて人気だ。2位は東京(含むTDR)で、定番のテーマパークのほか、都内をめぐるといった観光客も増えている。北海道が3位で、北海道新幹線の開業効果もあり、南北海道が人気だ。USJがけん引して大阪が4位、名湯が数多い九州が5位だった。

北陸の特産品 列車内で販売

JR西日本

JR西日本は12月2日と3日にJR大阪、JR金沢駅間の団体臨時列車「サンダーバード」車内で、北陸の特産品を販売する「おいしいお土産」を販売した。

試食を勧めながら、特産品を販売する列車は、北陸の特産品の生産者や販売業者が乗車し、試食や販売を行う初の列車だ。このほか、北陸の特産品を直接販売する列車も運行された。

JR西日本は、北陸の特産品の生産者や販売業者が乗車し、試食や販売を行う初の列車だ。このほか、北陸の特産品を直接販売する列車も運行された。



月別取扱額

10月

JTB 国内旅行は4%減

JTBグループの旅行販売会社25社による2017年10月の取扱額は前年同月比0.5%増の1570億4900万円だった。うち国内旅行は、台風などの影響で、4.4%減の936億5400万円となった。海外旅行は7.7%増の533億2200万円、国際旅行は14.3%増の100億7300万円だった。

国内旅行の内訳を見ると、団体旅行は「提携販売」が3.2%減、「企業」が3.2%減、「個人」が5.5%減の7803万円、海外旅行は「提携販売」が3.2%減、「企業」が3.2%減、「個人」が5.5%減の7803万円、海外旅行は「提携販売」が3.2%減、「企業」が3.2%減、「個人」が5.5%減の7803万円。

海外好調 19%増

KNT-CTHD

KNT-CTHDホールディングスの2017年10月の取扱額は前年同月比19%増の247億8800万円だった。うち海外旅行は9.9%減の18億8242万円となった。国内旅行の内訳は、団体旅行が7.2%減の43億7657万円、個人旅行が1.0%減の109億5897万円となり、合計で5.1%減の162億6411万円、国内個人旅行は減少し、1.7%減の43億1795万円だった。

海外旅行の内訳は、団体旅行が18.8%増の15億2478万円、個人旅行が9.9%減の18億8242万円となった。国内旅行の内訳は、団体旅行が7.2%減の43億7657万円、個人旅行が1.0%減の109億5897万円となり、合計で5.1%減の162億6411万円、国内個人旅行は減少し、1.7%減の43億1795万円だった。

高速バスと観光

最終的に商品ラインナップに加えないといけないのが、都市から観光地への2時間圏内での移動手段だ。観光の時間を確保するよう、高速バスと観光の連携が求められる。

重要なポイントは、往復の行程で宿泊も同一行動し、出発地点に着て戻るといった「戻り型」のバスツアーと異なる、片道のみの乗車を認める

成定 竜一が説く

【75】

これによって、例えば「往路は通常の高速バスで直行し、早めに宿に入ってから観光」や「復路は『お任せ』で観光を楽しみながら帰ってくる」というように、旅行者自身ができるようになっている。

毎日の運行が原則の高速バスに立ち寄り観光を組み込むという「移動型」のバスツアーと異なる、片道のみの乗車を認める

卒業・学生旅行のフォトコンテスト

日本旅行が主催

日本旅行は同社ホームページ内で「学生旅行の思い出」をテーマに12月1日から15日まで作品を募集している。

応募は日本旅行インスピレーションアカデミーをフォローして、「#学生旅行の思い出」をツイートするだけで参加できる。

逆境をチャンスに

旅館の再生プラン

(408) 青木 康弘

前回に引き続き、オペレーターに依頼したいと考えるオーナーは多いが、受託案件は厳しく選別されるのが現状だ。

「最初に提案を断られる」というのは、受託を検討するための基本条件として、①客室数100室以上(旅館なら70室以上)②客室数100室以上(旅館なら70室以上)③客室数100室以上(旅館なら70室以上)④客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑤客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑥客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑦客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑧客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑨客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑩客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑪客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑫客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑬客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑭客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑮客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑯客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑰客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑱客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑲客室数100室以上(旅館なら70室以上)⑳客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉑客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉒客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉓客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉔客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉕客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉖客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉗客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉘客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉙客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉚客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉛客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉜客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉝客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉞客室数100室以上(旅館なら70室以上)㉟客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊱客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊲客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊳客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊴客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊵客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊶客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊷客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊸客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊹客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊺客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊻客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊼客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊽客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊾客室数100室以上(旅館なら70室以上)㊿客室数100室以上(旅館なら70室以上)

失敗しないオペレーター選び

失敗しないオペレーター選び

失敗しないオペレーター選び

国内旅行は9%増

阪急

阪急交通社が2017年12月13日発表した10月の取扱額は前年同月比9%増の290億5499万円だった。

うち国内旅行は9.4%増の140億2000万円、海外旅行は1.7%減の150億3499万円だった。国内旅行の内訳は、団体旅行が5.5%減の72億9999万円、個人旅行が9.9%増の67億2000万円だった。

総取扱額は2%減

東武

東武トップツアーズが2017年12月13日発表した10月の取扱額は前年同月比2%減の18億8334万円だった。

うち国内旅行は1.7%減の18億8334万円、海外旅行は1.7%減の18億8334万円だった。国内旅行の内訳は、団体旅行が1.7%減の18億8334万円、個人旅行が1.7%減の18億8334万円だった。

国内減少、海外は増

日旅

日本旅行の2017年10月の取扱実績は、総取扱額が前年同月比6.6%減の398億9665万円だった。国内旅行は2.4%減、253億9536万円と減少。海外旅行は1.8%増の145億0129万円と増加した。

国内旅行の内訳は、団体旅行が4.5%減の33億3333万円、個人旅行が2.4%減の220億6295万円だった。海外旅行の内訳は、団体旅行が1.8%増の145億0129万円、個人旅行が1.8%増の145億0129万円だった。

博多 プレジデントホテル博多 柳川 柳川藩主立花邸 御花 唐津 唐津シーサイドホテル 嬉野温泉 和多屋別荘 嬉野観光ホテル大正屋 萬象閣敷島 小浜温泉 和のやど湯のやど春陽館	長崎 稲佐山観光ホテル 矢太樓・矢太樓南館 雲仙温泉 九州ホテル 雲仙宮崎旅館 ハウステンボス ホテル日航ハウステンボス 平戸温泉 平戸海上ホテル 熊本市 ザ・ニューホテル熊本	別府温泉 ホテル白菊 おにやまホテル 悠彩の宿 望海 湯布院温泉 由布院ことぶき花の庄 湯めぐりホテル山光園 杖立温泉 つえたて温泉ひぜんや 天草松島温泉 松島観光ホテル岬亭	阿蘇内妝温泉 阿蘇ブラザホテル望蘇閣 阿蘇ホテル一番館・二番館 菊池温泉 菊池グランドホテル 山鹿温泉 山鹿温泉清流荘 人吉温泉 清流山水花 あゆの里 湯の児温泉 ホテル湯の児海と夕やけ 青島温泉 青島グランドホテル	鹿児島温泉 鹿児島サンロイヤルホテル 霧島温泉 霧島観光ホテル 指宿温泉 いぶすき秀水園 指宿海上ホテル 指宿シーサイドホテル 屋久島 田代別館 シーフォレスト	除菌装置保有バス会社 福岡 西鉄観光バス 福岡 福岡昭和タクシー 福岡 マリン観光バス 佐賀 多久観光バス 長崎 長崎ラッキーバス 熊本 九州産交バス 熊本 中九州観光バス 大分 日豊観光バス 大分 大分交通 宮崎 みやざき高山観光バス 鹿児島 さつま交通観光 鹿児島 南国交通観光
---	--	---	--	--	--

九州観光旅館連絡会
 札幌・仙台・東京・名古屋・北陸・大阪・中四国・福岡
<http://www.kyu-kan.net>

九観連 安心してお泊まりいただける九州・沖縄の一流ホテル・旅館の予約センター

本部 TEL:06-6531-7101 FAX:06-6531-7283 info@kyu-kan.com	仙台 TEL:022-266-4426 FAX:022-266-4428 sendai@kyu-kan.com	名古屋 TEL:052-582-9131 FAX:052-583-0330 nagoya@kyu-kan.com	大阪 TEL:06-6533-1131 FAX:06-6531-1388 osaka@kyu-kan.com	福岡 TEL:092-471-7854 FAX:092-471-7865 fukuoka@kyu-kan.com
札幌 TEL:011-242-4571 FAX:011-242-4581 sapporo@kyu-kan.com	東京 TEL:03-5298-7001 FAX:03-5298-7002 tokyo@kyu-kan.com	北陸 TEL:076-224-1801 FAX:076-222-7299 hokuriku@kyu-kan.com	中四国 TEL:082-244-2841 FAX:082-244-2844 chushikoku@kyu-kan.com	